

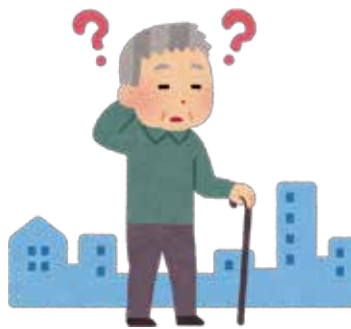


シリーズ認知症

地域包括支援センターだよ！

あれ？おかしいなと感じたら

認知症は誰にでも起こり得る脳の病気に起因するもので、認知症になっても住み慣れた町で暮らし続けられるよう、一人ひとりが認知症について正しく理解することが大切です。



相談窓口・問い合わせ先
 役場介護環境課
 地域包括支援センター
 ☎(86)1153[直通]

まずは相談ください

認知症は自覚しづらく、早期発見には周囲の気付きが大切です。少しでも違和感を覚えたら、症状の変化を書き留めたり、家族間で情報を共有したりすることをすすめます。

「認知症」と「加齢による物忘れ」は似ていますが、大きく違います。「もしかして、自分(家族)は認知症かも」と思ったら、すぐに検査を受けましょう。治る可能性がある物忘れもあるため、原因を調べることが初期段階では重

要です。まずはかかりつけ医や役場などに相談ください。

認知症は高齢者だけの病気ではなく、若い人でも発症することがあります。診断が遅くなり症状が進行すると、仕事を続けられず経済的に苦しくなるなどの問題が発生し、本人だけでなく家族の生活にも影響が出ます。

65歳以下の若年のかたで悩んでいる場合は次の相談窓口にご相談ください。

「認知症ケアパス」を作成しています

認知症の人やその家族が、できるだけ住み慣れた町で安心して暮らし続けることができますよう、認知症の状態に応じた支援や医療・介護サービスが掲載されたガイドブックを作成しています。

※ホームページにも掲載しています。



今後、高齢化はますます進んでいくことから、認知症の人を支えていくことが大切です。認知症の人やその家族が安心して暮らすことができるよう、認知症ケアパスを活用ください。

若年性認知症相談窓口(県)

☎099(251)4010
 時間：午前10時～午後4時(土日除く)
 相談：無料

若年性認知症の電話無料相談(国)

☎0800(100)2707
 時間：午前10時～午後3時(土日除く)
 相談：無料

* 次回の「ろばカフェ」 *

○日時
 8月12日(金)
 午後1時30分～3時

○場所
 町文化ホール
 憩いの部屋

※変更になる場合があります。



次の言葉を並び替えて、言葉を完成させてください。

- ①ウタヒヨク
- ②パクシヨク
- ③スリキギリ
- ④カーモニハ
- ⑤クシメラン